

銘柄分析レポート：続・実はこの会社、タダです

1 はじめに

下図は、2月1日付の銘柄分析レポート「実はこの会社、タダです」で取り上げた幼児活動研究会（2152）の株価チャートです。

時価総額が保有現金を下回るというタダな株価のまま、横ばいを続けていた同社株は、夏場にその局面を上放れ、秋口から急上昇を演じました。

絵に描いたような「保ち合い上放れ」です。保ち合いの局面で少しずつ買っても、保ち合いが上に抜けてから一気に買っても、いずれにせよ相当に儲かったはずです。

本レポートは銘柄推奨でも何でもありませんが、やはり紹介した銘柄の株価が上がれば、執筆者としては気分がいいものです。

今月号の銘柄分析レポートは、2匹目のどじょうを狙って「実はこの会社、タダです」の続編としました。

★幼児活動研究会 株価チャート（日足）



(c)Quants Research Inc.